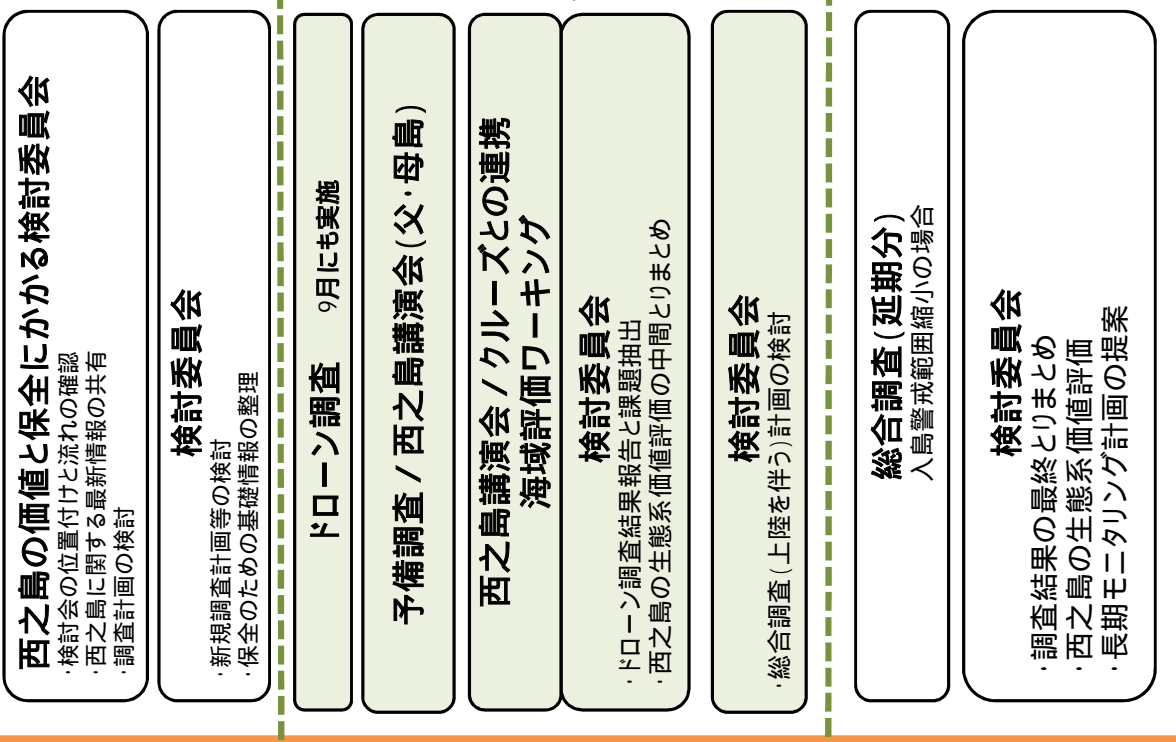


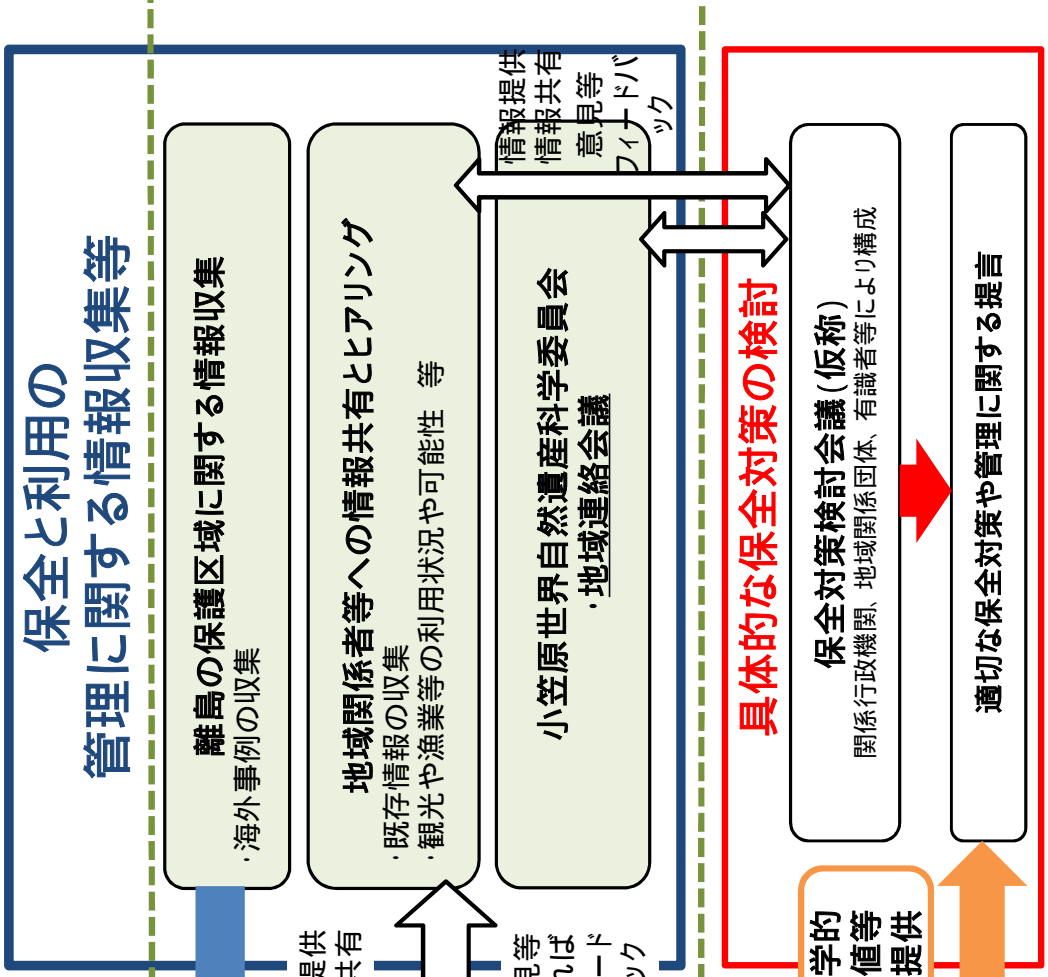
2017年度

### 科学的価値の検討



火山活動等の影響等によっては、学術調査の実施、計画の全体を延長する。

2018年度事業



適切な保全対策に係わる調整・手続きへ













# 西之島の科学的価値を脅かすリスクの整理

## 1. 地域ヒアリングから得られた、西之島の価値を脅かすリスク

・過去20年以内に起きた事象としてだけでも、海岸ゴミ、船舶の座礁、国籍不明船やヨットによるミカンコミバエ等外来種の侵入リスクなどが挙げられる。

・クルーズ船等での周遊では環境配慮は考慮されていない可能性がある。大型観光船やヨットが立寄った際に、ドローンを飛ばすことや上陸することがあるかもしれない。

・観光利用と同様のリスクが調査にもあり、どのように対応しているかを明らかにし、信頼を得ることが地域にとっては大切である。

・釣りや興味本位で上陸する懸念がある。

## 2. 西之島の価値を脅かすリスクの整理（例）

### ● 想定される西之島の科学的価値

#### 【地質学的価値】

・海洋島の形成過程の解明

#### 【生物学的価値】

・海洋島における一次遷移の検証

（新しい生態系の時間的变化）

・独自の生態系の確立

（遠隔の離島におけるアンバランスな始原生態系）

= シンプルで、空きニッチが多く、脆弱な生態系

### ● 西之島の価値を脅かすリスク（特に生物学的価値に関して）

#### 【侵略的外来種の非意図的侵入】

・鳥類による分散

・海流による分散

・船舶の座礁による船内に混入していた生物の侵入

・海洋に投棄されるゴミに随伴した侵入

・バラスト水の放出、船底への付着による侵入

・果実等に侵入した害虫などの非意図的運搬

・制限が解除された際の記念渡島による持ち込み

#### 【西之島に生息する生物の攪乱】

・人の上陸による生物へのストレス、攪乱（調査を含む）

・ドローン等の機器による生物へのストレス、攪乱（調査を含む）

・海洋ゴミ、油等による生物への影響